活動レポート
No.375



自民党 第33代・第34代環境大臣

あさお 慶一郎（けい いち ろう）

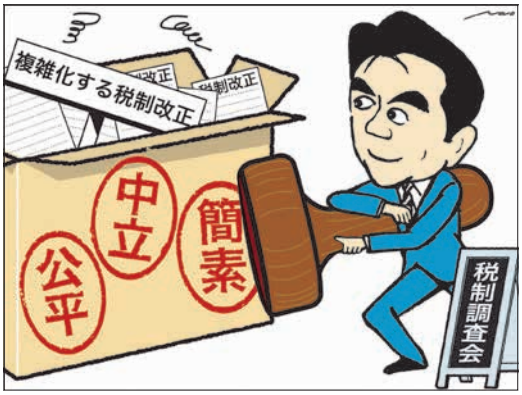
何度でもチャンスのある社会を

今月の提言

自民党税制調査会副会長として

自民党税調

昨年10月より、自民党税制調査会副会長を拝命しております。環境大臣に続く重責を担うこととなり、気を引き締めています。自民党税調と聞いても一般の人にはあまりなじみのない組織ではないでしょうか。ですから少し仕事の内容を説明します。まず例年11月中旬から下旬にかけて、税制改正法案のための総会（キックオフ）、部会ヒアリング、主要項目のヒアリングを行います。そして12月初旬頃に、税制改正要望の中から、受け入れるものとそうでないものを振り分けます。これをマルバツ審議と呼びます。政治的な問題を議論するマル政審議を経て12月中旬頃に与党税制改正大綱が決定されます。そして翌年の３月31日までに税制改正法案として、成立へと導くのが全体のプロセスとなります。今年は、このプロセス以外に、飲食料品にかかる消費税を臨時的に８％から１％に引き下げることも税調において決定され、その法案が現在の臨時国会で審議されています。



消費税引き上げ時の課題

国民の皆さまの関心はもちろんこの飲食料品の消費税引き下げに向けられているはずです。税率の変更にともない混乱も予想されています。例えば２年後、2029年４月の消費税率が再び引き上げられるタイミングでの駆け込み消費です。お米や飲料等保存が利く商品の大量の買い占めが起きることを、いかにして防ぐかといった問題です。

今年の税制調査会で議論される重大な案件

一つは、国税庁の通達の変更による、非上場株式の相続税における評価方式の変更です。非上場株式ですので容易には現金化できません。その評価額を大きく変えれば、事業の継続が危うくなる事例もあるでしょうし、また事業を売却するという動きになってしまうこともあり、マイナスの影響が懸念されます。そうした問題をいかに防ぐかは喫緊の課題です。もう一つは、いわゆる多摩川格差といわれるものです。これは多摩川を渡るとさまざまな住民サービスが東京都と神奈川県で異なることを指してつかわれる言葉です。ですから東京都に集中する税財源を地方譲与税として人口比に応じて地方に配分することを議論しなければならないのです。対象となるのは法人事業税と固定資産税で、いずれも去年の税制調査会からの積み残しの議論となります。

税制は公平・中立・簡素が基本

税制は公平・中立・簡素であることが基本ですが、毎年の税制改正によって、むしろ複雑さを増しています。ですから、税の原則に従って、常により良く分かりやすいものに変えてゆくよう力を尽くしてまいりたいと思います。税制改正についての皆さまのご意見もお待ちしております。

第33代・第34代環境大臣　浅尾 慶一郎

誰にでも何度でもチャンスのある社会を。

あさお慶一郎のプロフィール

昭和39年2月11日生まれ
栄光学園高校、東京大学法学部卒業
日本興業銀行出身、証券アナリスト
米スタンフォード大学
経営大学院（MBA）修了

平成10年 参議院議員選挙初当選
平成16年 参議院議員選挙当選（2期目）
平成21年 衆議院議員選挙初当選
平成24年 衆議院議員選挙当選（2期目）
平成26年 衆議院議員選挙当選（3期目）
令和４年 参議院議員選挙当選（3期目）

浅尾慶一郎事務所
■鎌倉事務所
〒247-0056　鎌倉市大船1-23-11 松岡ビル5階
TEL.0467-47-5682　FAX.0467-47-5626
info@asao.net

Website asao.net
Facebook facebook.com/keiichiroASAO
X twitter.com/asao_keiichiro
YouTube youtube.com/user/asaokeiichiro

FSC www.fsc.org ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C190963



クローズアップかながわ　横浜市瀬谷区

神奈川県東部
（横浜市西部）
面積：17.11km²
人口：120,047人
（令和8年10月1日現在）

活動レポートの「クローズアップかながわ」は、神奈川県内の政令指定都市で活躍する方々にインタビューし、それぞれの地域の魅力を発信する企画です。
今回は、株式会社露木建設の代表取締役であり、横濱花博連絡協議会の会長も務める露木晴雄さんにお話を伺いました。瀬谷区は横浜市の西部に位置し、豊かな自然と都心へのアクセスの良さを兼ね備えた穏やかな街です。2027年の国際園芸博覧会（花博）に向け、街全体が新たな活気に満ちています。

あさお：本日はよろしくお願いします。まずは、瀬谷区に住んでいるからこそ分かる魅力や、おすすめのスポットを教えてください。

露木さん：よろしくお願いします。おすすめは、花博に向けて整備が進むエリアです。特に旧海軍道路周辺や、三ツ境駅前に私たちが整備した花壇ですね。また、会場内にある横浜市が残してくれた「一本桜」周辺の約300坪の場所はボランティア50人ほどで週2回、草取りや花の入れ替えを行っています。私たちの活動をぜひ見に来ていただきたいです。

あさお：地域の皆さんの手で美しく保たれているのですね。では、区の一番の自慢や地域を繋ぐイベントについてはいかがでしょうか。

露木さん：花博の開発に伴い、区内にあった3つの野球グラウンドがなくなってしまったんです。そこで地域の方々や協賛企業の協力を得て、宮沢地区に新しい球場をボランティアでつくり上げました。少年野球からシニア、草野球まで、世代を超えて交流できる場所をみんなの力で生み出せたことは瀬谷区の大きな自慢です。

あさお：素晴らしい絆ですね。まちづくりと花博のリーダーである露木さんから見て、瀬谷区の今後の展望はどうお考えですか。

露木さん：昔は「瀬谷ってどこ？」と言われがちでしたが、花博をきっかけに『瀬谷区』がだんだんと浸透してきて本当に嬉しく思っています。ここは東京にも海にも、御殿場にも車で1時間ほどで行ける非常に便利な場所です。今後は相鉄線や隣接する大和市、町田市とも連携しながら、自然豊かでありながらも発展し続ける街にしていきたいですね。

あさお：最後に、露木さんの夢をお聞かせください。

露木さん：子どもたちが住みやすい環境をつくることが一番の夢です。花博やその後のテーマパーク、防災公園の整備を通じて街が発展し、一度瀬谷を離れた子どもたちが「また住みたい」と戻ってきてくれるような住みやすい街を創りたいです。相鉄線の都心直通もあり、最近は若い世代も増えてきているのでとても楽しみにしています。

あさお：花博という世界的なイベントを契機に、地域の絆をさらに深め、子どもたちの未来のために奔走する露木さんの熱い想いが伝わってきました。自然と都会の利便性が調和する瀬谷区のこれからの発展にさらに期待が高まります。本日はありがとうございました。

露木さんの3選

横濱花博連絡協議会マスコットキャラクター『ブンブン』
花博を盛り上げる丸くて可愛いミツバチのキャラクター。瀬谷区のお祭りや運動会では引っ張りだこ。子どもから大人までみんなに大人気！



『カスタード』の瀬谷プリン
瀬谷駅前にあるケーキ屋さんの大人気商品。とろんとした質感で、なめらかで濃厚な味わいが特徴で、露木さんのお土産の定番だそう。



NPO法人『瀬谷丸』
露木さんが中心となって集めた市民の寄付をもとに岩手県大槌町へ贈られた漁船。現在では、瀬谷丸であがった魚が区内のスーパーや小中学校の給食で利用されている。



あさお慶一郎をご支援ください

特別賛助会員募集

「あさお慶一郎君を応援する会」では、あさお慶一郎の政治活動を支援する一助として『特別賛助会員』(5,000円/年)※の募集を行っております。ご入会の方に、鎌倉彫の伝統継承者　三橋 鎌幽 氏がデザインした『2026年干支「午」』のオリジナルピンバッジをお渡しします。

※後援会組織「あさお会」は無料。年会費はありません。



自民党員募集中!!

入党資格

1. わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方
2. 満18歳以上で日本国籍を有する方
3. 他の政党の党籍を持たない方

※ご入党いただける方は、下記にご記入いただき、浅尾事務所までご連絡願います。「入党申込書」をお送りさせていただきます。

お申込み記入欄

お申込みは FAX. 0467-47-5626 か asao.net のご意見・お問合せフォームへ

お申込みをされる項目に✓をしてください

- ☐ 特別賛助会員
- ☐ ポスターの掲示ご協力
  ＊自宅の壁・フェンス等に掲示可能な方はお知らせください
- ☐ 自民党入党希望

フリガナ		電話番号	
お名前		E-mail	
ご住所	〒　　ー		

各種入会・詳細に関しましては、「浅尾慶一郎事務所」ホームページ「https://asao.net/」又は TEL. 0467-47-5682 までご連絡ください。